



2026年 5月 14日

各 位

会 社 名 株式会社三井E&S
代表者名 代表取締役社長 高橋 岳之
(コード：7003、東証プライム市場)
問合せ先 執行役員経理部長 林 和雄
(TEL 03-3544-3210)

**連結決算における営業外収益（持分法による投資利益）の計上及び
個別決算における特別損失（関係会社株式評価損）の計上並びに
2026年3月期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ**

記

当社は、2026年3月期連結決算において営業外収益（持分法による投資利益）及び個別決算において特別損失（関係会社株式評価損）を計上いたしました。また、2026年3月期個別業績と前期実績との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 連結決算における営業外収益（持分法による投資利益）の計上

当社の持分法適用関連会社に係る業績を取り込んだことにより2026年3月期において持分法による投資利益75億円を営業外収益に計上いたしました。

2. 個別決算における特別損失（関係会社株式評価損）の計上

当社の連結子会社である Mesco Denmark A/S の株式について、実質価額が低下したため減損処理を行い、関係会社株式評価損72億円を特別損失として計上いたしました。

関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 2026年3月期個別業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (2025年3月期)	百万円 195,270	百万円 18,449	百万円 30,429	百万円 57,867	円 銭 571.66
当期実績 (B) (2026年3月期)	209,623	33,084	45,009	31,800	315.18
増減額 (B-A)	14,353	14,635	14,580	△26,067	—
増減率 (%)	7.4	79.3	47.9	△45.0	—

(注) 2026年3月期において表示方法の変更を行ったため、2025年3月期については当該表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しております。なお、本件は連結子会社との取引に関するものであり、連結財務諸表への影響はありません。

差異の理由

売上高は、船用大型エンジン及び二元燃料エンジンの売上が増加したことや、コンテナクレーンの大型工事が順調に進捗したことなどにより増加しました。営業利益及び経常利益は、売上高の増加及び各事業において工事の採算が改善したことなどにより増益となりました。当期純利益は、上記関係会社株式評価損を計上したことや、前期に 400 億円を超える関係会社株式売却益を計上していたことから減益となりました。

以 上